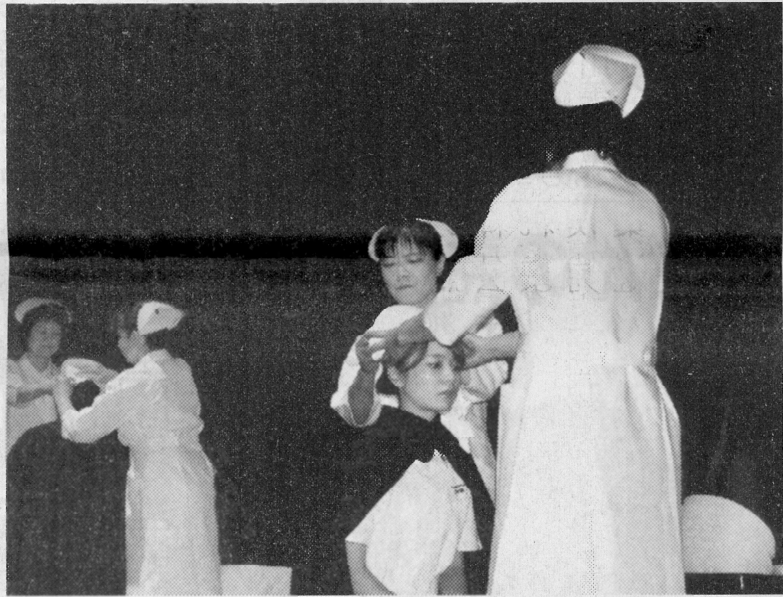


看護の心 白い冠に 戸田の専門学校で戴帽式



厳肅な雰囲気の中、決意に満ちた表情で戴帽式に挑む看護学生ら。川口総合文化センターリリア音楽ホール

チンゲールの心を受け継ぐキャンドルを灯した。

式辞で中村毅校長は「これからの現地実習で本当の看護を勉強することになるが、現場では机上では学べなかつた色々な悩みや問題が出てくると思う。そんなときは自分の看護師としての夢を見失わず、今回の戴帽式での決意を心の中の灯火として日々自己研鑽に励んでほしい」と激励した。学生たちは緊張の中にも決意に満ちた表情で、ナースという夢へ向かつて着実に第一歩を歩み始めた。

(土沢貴弘)

戸田中央医科グループ（戸田市本町、中村隆俊会長）が運営する戸田中央看護専門学校（中村毅校長）の2012年度戴帽式が、川口総合文化センターリリア音楽ホールで行われた。

埼玉新聞

2012年 5月29日 火曜日
(平成24年)

「戴帽式は、入学してから一定期間、看護の基礎を学び、看護師の資質があると認められた学生に、看護の象徴であるナースキャップを与える儀式。同校では1977年の開学以来、実施されており、今年は第一学科17期生85人の生徒が戴帽の議に臨んだ。」

「生徒たちはナイチンゲール像を舞台の中心に、パイプオルガンの音色が静かに鳴り響く厳肅な雰囲気の中、一人ひとりの壇上でナースキャップを戴き、ナイ